



今回の展覧会は第4回目となる中尾照子さんと上村十三子さんによる2人展「照子&十三子の絵画の世界へ」です。中尾さんは大型の作品が多く、迫力のあるものになっていました。抽象で描かれた絵からは、どれからも内側から湧き上がるようなエネルギーと力強さがあり、生命や宇宙等、何か大きな存在を感じさせます。表面はざらざらとしたテクスチャーがついていて、ポリウムや立体感を感じることにも出来、とても興味深い作品になっていました。上村さんの作品は風景や植物等を中心に色彩豊かに描かれている



ので、華やかで女性らしい印象です。とても細かいところまで丁寧に描きこまれているので見応えがあり、部屋に飾ると日々の生活が楽しくなるような、そんな作品でした。そして今回の展覧会でも登場した陶芸作品が今回も3点飾られ、絵画とはまた違った魅力のある立体作品を見ることによるグループ展も開催されるそう、陶芸の活躍も期待されます。桜や菜の花がいつせいに咲き始める春の訪れを感じる暖かい日に、2人のそれぞれが魅力を楽しむことが出来る展覧会でした。

第4回

照子&十三子の 絵画の世界へ

3月27日(木) - 4月1日(火) AM11:00 ~ PM7:00



上村 十三子



中尾 照子

